

# 農林水産商工常任委員会提出資料

(平成23年10月7日)

項目

ページ

3 湖山池会議の概要について

【農政課】 ..... 1

農 林 水 産 部

## 湖山池会議の概要について

平成23年10月7日  
水・大気環境課  
農政課  
河川課

知事と鳥取市長との意見交換会（H22.5.14）等の合意により「湖山池の望ましい姿」を検討するために発足した「湖山池会議」を開催し、将来ビジョン（素案）を協議し、構成についての了解と内容の充実を一層図ることを確認。また、今後の農業対策については、地元との検討状況を確認し、引き続き関係者との協議を進めていくこととした。

### 1 開催日時等（第6回）

- 日時：平成23年10月4日（火）14：00～
- 場所：鳥取市役所 本庁舎 全員協議会室
- 出席者：（鳥取市）副市長 他関係部長、（鳥取県）統轄監 他関係部長

### 2 議事概要

#### （1）湖山池将来ビジョンの素案について

- 将来ビジョンの構成
  - ①湖山池の概要とこれまでの経緯、②将来ビジョン、③将来ビジョン達成に向けた取組内容④参考資料を構成要素とすることを確認
- 将来ビジョンは、内容の充実を図り、パブコメ等を行い策定することを確認

#### （2）今後の農業対策に関する地元との協議状況について

- 今後の農業対策として、湖山池周辺において、池の水を利用している地区に対し、畑地化への取組を提案し、農業者と協議中。瀬土地改良区では、畑地化にすることが決定されたところ。
- 引き続き地元との協議を進めていくことを確認

#### 〔参考：過去の湖山池会議の開催概要〕

##### 第1回（H22年6月25日）

- ・湖山池の将来ビジョンの策定に向け、市民協働推進ワーキング及び水質浄化・生態系ワーキングを設置して検討することを決定

##### 第2回（H22年8月11日）

- ・住民に対するアンケート内容や意見交換会の実施方法の検討
- ・湖山池の将来像パターンの検討及び水質浄化方策の取りまとめ
- ・繁殖の著しいヒシ除去対策に県・市で精力的に取り組むことの決定 等

##### 第3回（H22年10月29日）

- ・市民アンケート内容や実施方法を決定
- ・水質浄化施策の検討結果について確認
- ・ヒシの刈取り実績、効果について確認 等

##### 第4回（H23年3月30日）

- ・市民アンケート結果によると東郷池程度の環境を望む意見が多かった。
- ・営農意向調査を行うことを決定
- ・平成23年の水門管理については、平成22年度の実績を基本とすることを確認 等

##### 第5回（H23年8月3日）

- ・水質シミュレーション結果（CODは大きな変化なし）、営農意向調査結果（10年後の水稲作維持の意向は46%）の確認
- ・自然環境の変化が比較的小幅に抑えられる東郷池程度の塩分管理が今後の目指す方向と確認し、その際に必要となる農業対策を検討する。 等

## 湖山池将来ビジョン（素案） ～恵み豊かで心地良い湖山池を目指して～

### 1 湖山池の概要とこれまでの経緯

湖山池は内水面漁業の場として、また農業用水源として利用されるとともに湖上に浮かぶ大小の島々が織り成す景観は、心に安らぎを与えてくれる市民の憩いの場であり重要な観光資源でもありました。

しかし、この湖山池も、近年の社会経済の発展や生活文化の向上などに伴って、富栄養化が進みアオコの発生が続くようになりました。

#### 【年表】

S38	S58	H01	H03	H12	H17	H22	H23
現行水門完成	千代川河口付け替え	農業者・漁業者による塩 分管理の合意	湖山池水質管理計画策定 ⇒	湖山池公開討論会 → 湖山池100人委員会	塩分濃度導入開始 ⇒	湖山池会議発足	湖山池将来ビジョン策定



【昭和20年代】



【昭和50年代】



湖山池の性状は、東西4km、南北2.5kmのほぼ楕円形を呈し、水深は湖岸で2mより浅く、2m、3m、4mの等深線は北に傾斜しており、最深部は北岸の距離300m程度の位置にあります。湖山池の流域面積は、38.9km<sup>2</sup>（湖面積を含まず）で、流入河川として福井川、湖山川、枝川、三山口川等があります。

流出河口の湖山川は、以前は千代川に合流していましたが、昭和58年の千代川河口切替え工事により、直接海とつながることとなりました。

## 2 将来ビジョン（望ましい姿）

基本理念：恵み豊かで心地良い湖山池を目指して

湖山池の将来ビジョンとして、上記の基本理念に基づき①豊かな生態系、②良好な水質、③暮らしに息づく湖を目指し、東郷池程度の塩分濃度の汽水域として順応的な管理を行うことにより、その再生を目指します。

① 豊かな生態系	多様な生き物を育む水環境 →エビやフナなど多様な魚種と水草など調和の取れた生態系の創出
② 良好な水質	人々が水にふれあい、遊ぶことのできる水環境 →ヒシ・アオコの異常繁茂の抑制、澄んだ水辺空間の創出
③ 暮らしに息づく湖 (ワイズユース※)	人々が集い、親しみ、安らげる、心地よい水環境 →魚釣りや散策、イベント等により、人々が水辺に集い、水とふれあう場の創造

※ワイズユースとは：賢明な利用の意。ラムサール条約で提唱された考え方で湖沼・湿地の生態系を維持しつつ、人類の利益のために湖沼・湿地を持続的・多面的に賢く利用しようとする考え方。

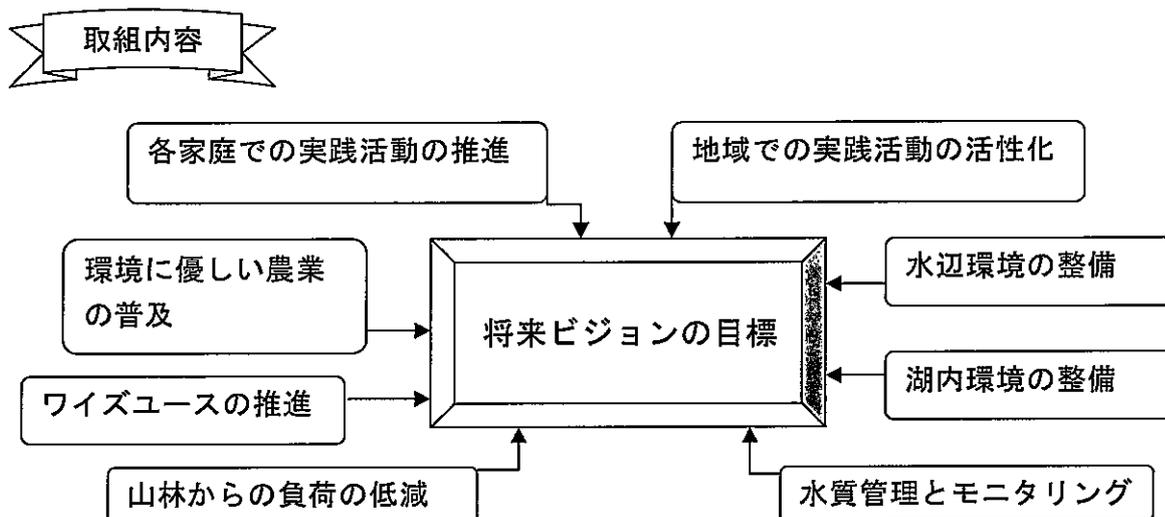
5 ページ目【参考】の図を差し込み  
将来ビジョンのイメージ図

### 3 将来ビジョン達成に向けた取組

#### 【将来ビジョンの目標】

- ① 豊かな生態系
- ② 良好な水質
- ③ 暮らしに息づく湖

関係部局や住民等と連携して、将来ビジョンの目標達成のために次の取組を行う。



主な取組	具体的な内容
各家庭での実践活動の推進	下水道等への接続、合併処理浄化槽への転換、生活雑排水対策、五感による水質評価
地域での実践活動の活性化	一斉清掃、環境教育、イベント等の環境活動
環境に優しい農業の普及	化学肥料の低減、側条施肥田植機の導入、エコファーマーの推進、浅水代掻きの推進
水辺環境の整備	浅場造成、公園整備、湖内清掃
湖内環境の整備	漁業振興による漁獲による湖内負荷の持ち出し、浚渫・覆砂の検討、水草刈取りの検討
山林等からの負荷の低減	森林の適正管理、ウエットランドの検討、冬水田んぼの検討、道路清掃、側溝清掃
水質管理とモニタリング	塩分操作の改善、沿岸域を含む水質や底質及び生物調査、水質改善に向けた調査研究
ワイズユースの推進	ジオパークを含めた観光振興、水辺スポーツの振興、魚釣り等のレジャー活用、石がま漁等の伝統文化の活用

### 4 参考資料

(水質や漁獲量の推移データを記載)

【参考】

将来ビジョンの構想（市民アンケート等を参考とした関連キーワードの抽出）

～ 恵み豊かで心地よい湖山池を目指して ～

①汽水生態系への転換

アオコ・赤潮の抑制	水鳥
ヒシの異常繁茂抑制	汽水性植物
外来生物の駆除	回遊魚・シジミ
在来生物の保護	生物多様性

④湖に関わる産業と観光・文化の振興

漁業	温泉
ジオパーク	特産品
石釜漁等の伝統文化	史跡
伝説	エコツーリズム

②良好な水質への改善

清浄な…、高い透明度	貧酸素の解消
悪臭の発生のしない	環境基準の達成
ヘドロ	

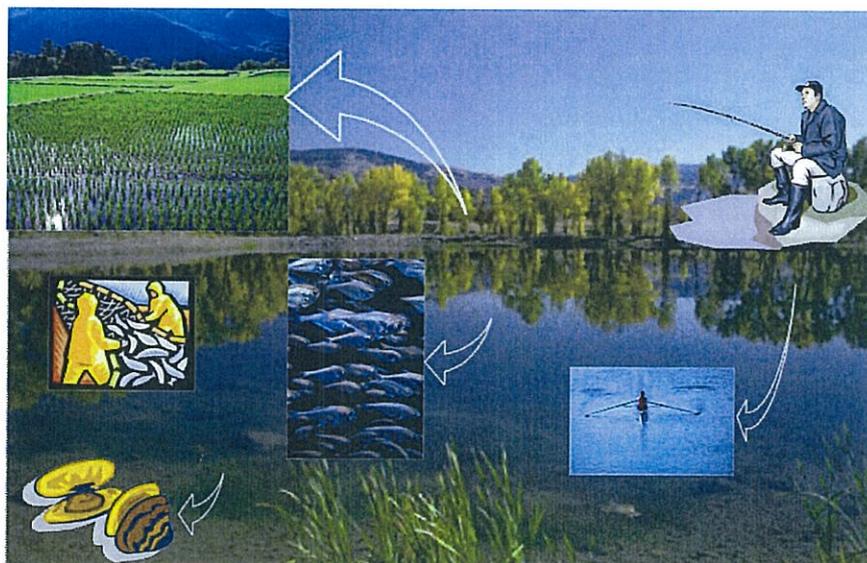
⑤湖を守るための流域自然の保護

里地・里山	森林保全
環境にやさしい農業	

③地域住民との関わりの深化

水遊び（水泳）	釣り
ボート・遊覧船	バードウォッチング
散歩・散策	植物観察
レクリエーション	清掃活動

5つの区分で関連するキーワードを列挙。  
これらの取捨選択・組合せで将来ビジョンの目標を構築するための材料。  
最終的には将来ビジョンをイラスト・写真を用いたイメージ図（下図は仮版）にする予定





## 今後の農業対策に関する地元との協議状況について

県と鳥取市は、湖山池の水を水稲作に利用している農業者を対象に、8月下旬～9月にかけて、今後の農業対策に関する説明会を開催し、具体的に協議を進めている。

### 1 瀬地区への対応

- 8月27日（土）～28日（日）に瀬土地改良区の全組合員を対象に説明会を開催し、県と鳥取市から、地域ぐるみでの飼料作への転換を骨子とする畑地化への取組を提案し、協議した。
- 9月10日（土）の瀬土地改良区の臨時総会において、今後は地域ぐるみで畑地化にすることが決定された。
- 現在、土地改良区役員の協力を得ながら、戸別に今後の営農意向について聞き取りし、支援内容を検討中。

### 2 三津・福井・西桂見地区への対応

- 瀬地区に準じた畑地化への取組を提案した結果、各地区の立地条件（ため池、河川の利用）等を生かして、できる範囲で水稲を作りたいとの意向もあり、再度、地域の実情にあった営農のあり方について協議することになった。
- 現在、現地調査を行いながら、各地区毎の営農体系やそれに応じた支援内容について地元と協議中。

